・場所　宮城県角田市君萱字小金沢１
・減損前の帳簿価格（平成24年度期首）　2,334,261円

②　減損の認識に至った経緯

上記資産については、供給系燃焼試験等設備として２建屋を当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成24年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

③　算定方法等の概要

減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。

⑵　地球観測センターの建物の一部

①　固定資産の概要

・用途　車庫
・種類　建物
・場所　埼玉県比企郡鳩山町大字大橋字沼ノ上1401
・減損前の帳簿価格（平成24年度期首）　4,389,825円

②　減損の認識に至った経緯

上記資産については、車庫として当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成24年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

③　算定方法等の概要

減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。

⑶　勝浦宇宙通信所の建物の一部

①　固定資産の概要

・用途　衛星の運用管制用建物、倉庫
・種類　建物
・場所　千葉県勝浦市芳賀花立山１―14
・減損前の帳簿価格（平成24年度期首）　4,492,855円

②　減損の認識に至った経緯

上記資産のうち、衛星の運用管制用建物として当機構設立に際し承継した１建屋については、倉庫として使用することとしたため、承継時に比べて平成24年度期中における使用可能性が著しく低下しており、使用可能性の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

上記資産のうち、倉庫として当機構設立に際し承継した１建屋については、承継時に比べて平成24年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

③　算定方法等の概要

減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価格を上回っていたため、減損額は生じませんでした。

⑷　内之浦宇宙空間観測所の建物の一部

①　固定資産の概要

・用途　衛星の運用管制用建物ほか
・種類　建物
・場所　鹿児島県肝属郡肝付町南方1791―13
・減損前の帳簿価格（平成24年度期首）　26,627,691円

②　減損の認識に至った経緯

上記資産については、衛星の運用管制用建物等として２建屋を当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成24年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

③　算定方法等の概要

減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。

⑸　種子島宇宙センターの建物の一部

①　固定資産の概要

・用途　ロケットエンジン燃焼試験設備、データ中継設備及びロケット打上げの射場設備ほか
・種類　建物
・場所　鹿児島県熊毛郡南種子町大字茎永字麻津
・減損前の帳簿価格（平成24年度期首）　50,091,093円

②　減損の認識に至った経緯

上記資産のうち、ロケットエンジン燃焼試験設備およびデータ中継設備等として当機構設立に際し承継した６建屋については、承継時に比べて平成24年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

上記資産のうち、ロケット打上げの射場設備として当機構設立に際し承継した２建屋については、ＧＸロケットの開発中止により使用可能性が著しく低下しており、使用可能性の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

③　算定方法等の概要

減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価格を上回っていたため、減損額は生じませんでした。

⑹　小笠原宿舎

①　固定資産の概要

・用途　事業用宿舎
・種類　建物
・場所　東京都小笠原村父島西町24番14
・減損前の帳簿価格（平成24年度期首）　5,572,695円

②　減損の認識に至った経緯

上記資産については、事業用宿舎として当機構設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成24年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。

③　算定方法等の概要

減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。

⑺　筑波宇宙センターの建物の一部

①　固定資産の概要

・用途　試験用建屋
・種類　建物